

第106回 日本栄養・食糧学会 関東支部シンポジウム (仮)

日時：2021年2月6日 (土) 14:00～17:00

会場：オンライン (詳細は後日ホームページにて掲載)

シンポジウムタイトル：「食べ物のおいしさ研究の最前線2021」

お一人の講演時間：合計30分間 (25分間発表、5分間質疑)

座長：西村敏英 (女子栄養大学)

14:00-14:05 支部長挨拶

14:10-14:40 マヨネーズのおいしさとコク

(柳澤拓也先生：キューピー (株))

14:40-15:10 食べ物のコクとコク味物質

(黒田素央先生：味の素 (株))

15:10-15:20休憩

15:20-15:50 香りの可視化へのアプローチ：香りと色の調和

(野尻健介先生：長谷川香料 (株))

15:50-16:20 おいしさを脳で測定する先端的研究のアプローチ：

多感覚の相互作用の解明 (岡本雅子先生：東京大学)

16:20-16:50 おいしさの物差しは学習で作られる

(和田有史先生：立命館大学)

16:55-17:00 閉会の挨拶

世話人：上西一弘 (女子栄養大学)

連絡先：女子栄養大学 栄養生理学研究室

電話 049-284-3895 メールアドレス uenishi@eiyo.ac.jp